

その商品、模倣品かも…!??

～模倣品を販売するウェブサイトを見抜く4つのチェックポイント～

1. 正確な運営情報(運営者氏名・住所・電話番号)が記載されていない!?

連絡手段がEメールしかない
ウェブサイトは危険です!!

連絡手段がEメールしか用意されていない場合、相手から返信がなくなってしまうと、返金の交渉をすることもできません。

また、記載されている情報が、実在する住所や電話番号であるか注意が必要です。
正確な運営者情報が記載されていないウェブサイトの利用は控えましょう。



3. 日本語の表現が不自然である!?

機械翻訳のような日本語が使われていませんか…?

機械翻訳のような不自然な日本語表記がされているウェブサイトには要注意です。

模倣品を販売するウェブサイトでは、「送料無料!三日か五日届けます!」「休日か悪い天気会ったとき、届けた日より2,3日遅れるの可能性になっています」といったおかしい文章がよく見られます。



2. 正規販売店の販売価格よりも極端に値引きされている!?

お買い得すぎる商品、
本当に本物ですか…?

新品の有名ブランド(※真正品)を質に入れた場合、おおよそ6割程度の額で引き取られると言われています。

商品の状態や販売形態にもよりますが、正規販売店の販売価格よりも大幅に安価で販売されている場合、真正品であるか慎重に判断する必要があります。



4. 支払い方法が銀行振込のみとなり、クレジットカードが利用できない!?

銀行振込は、一旦振り込むと
お金を取り戻すことは極めて困難です!!

模倣品を販売するウェブサイトでは、クレジットカードが利用できないケースが多くあります。

銀行振込の場合、入金後にトラブルが発覚し、交渉が難航すると、相手が応じない限り返金を得ることは不可能です。

また、ウェブサイトの名称や運営者氏名と口座名義人の異なるケースも注意が必要です。

